

老朽高浜原発事故時 感染症対策等 避難先自治体へのアンケート 結果

- アンケート対象自治体：58 市町*（福井県 4、兵庫県 35、京都府 16、徳島県 3）
[対象市町は、内閣府「高浜地域の緊急時対応」による]
- 回答率：95%（58 市町の内、回答あり 55 市町、回答なし 3 市町）
- アンケート実施期間：2021 年 2 月 16 日～3 月 4 日
- 方法：アンケート用紙を F A X・メールで送付し、同様に回答を受け取った
- アンケート実施団体：福井と関西の 3 団体
(ふるさとを守る高浜・おおいの会/ 安全なふる里を大切にすの会/ 避難計画を案ずる関西連絡会)

◆ 感染症対策を実施すれば避難所は足りない

避難所が「足りている」は 25%の市町のみ

「足りない」と「その他」（「調整中」等で現在は足りない）の合計は 75%にも
避難所を増やしたのは 2 市町のみ

感染症対策 避難所の数は足りていますか？



(足りている：14 市町/ 足りない：31 市町/ その他 11 市町、複数回答あり)

◆ 避難者を福井県民に限った場合：避難所不足は一層増える



(足りている：4 市町/ 足りない：12 市町/ その他 4 市町、複数回答あり)

◆ いまだに、避難所を決めていない、マッチングができていない市町がある

(マッチング：避難元住民がどの避難所に入るのかの具体化)

◆ 「避難所不足で困っている」「対策は事故発災時に調整」

コロナ禍で「3密」を避けるため、避難所もこれまでの 2 倍近いスペースが必要となっています。そのため私たちは、原発事故時の避難所について、避難先自治体にアンケートを実施しました。結果は、感染症対策を実施すれば、現在の避難所では足りないことを示しています。また、対策が必要と感じていても、「調整中」との回答も多く、現状では、避難する住民の安全を守ることはできません。アンケート結果が示す現実から、老朽原発の再稼働はやめるべきです。

ご多忙の中、自治体の皆様にはアンケートにご協力いただきました。ありがとうございました。

(※避難先市町 58 のカウントについて：

敦賀市は、高浜町とおおい町の回答が人数・避難所数以外は同じのため 1 と数える
福知山市は、市内分 1+宮津市・伊根町で 1 のため 2 と数える。
京丹後市は、宮津市と伊根町分一括回答のため 1 と数える)

高浜原発事故時の避難先自治体アンケート結果

避難元	避難元市町	避難先	受入人数	避難所の数	マッチング ●できている ×できていない	感染症対策で避難 所は足りているか ●足りている ×足りない	濃厚接触者の 別室確保 ●確保している ×できていない	
福井県	高浜町	敦賀市	10,429	15	●	その他	●	
	おい町		8,233	20				
	高浜町	三田市	3,200	4	●	×	×	
		猪名川町	750	3	●	×	×	
	おい町	伊丹市	4,400	24	●	その他	×	
		川西市	3,900	19	●	×	●	
	小浜市	鯖江市	11,400	13	●	その他	×	
		越前市	17,000	30	●	×	●	
		姫路市	22,000	38	●	●	—	
		豊岡市	3,200	13	●	●	—	
		養父市	1,000	8	●	●	●	
		福崎町	830	5	●	×	●	
		神河町	406	2	×	×	●	
		市川町	460	3	●	×	×	
		新温泉町	564	2	●	×	×	
		香美町	747	4	●	×/その他	—	
		朝来市	1,172	8	●	×	●	
		若狭町	越前町	3,645	15	●	●	●
	加東市		1,700	—	×	×	●	
	丹波市		2,000	6	●	×	●	
小野市	回答なし							
京都府	舞鶴市	京都市	65,000	120	●	その他	(その他)	
		宇治市	14,000	36	●	その他	×	
		城陽市	6,000	21	●	●	●	
		向日市	—	—	×	その他	×	
		神戸市	34,000	69	—	その他	●	
		西宮市	16,000	65	●	その他	(その他)	
		淡路市	900	5	●	×	×	
		尼崎市	14,000	83	●	×	●	
		鳴門市	8,500	32	●	その他	●	
		北島町	4,400	20	●	●	—	
	松茂町	3,700	10	●	●	—		
	綾部市	福知山市(1)	9,300	23	●	×	●	
		亀岡市	6,300	58	●	●/その他	●	
		相生市	975	5	●	●	●	
		穴栗市	1,462	11	●	×	×	
		赤穂市	1,700	2	●	×	●	
		佐用町	469	2	—	×	●	
		太子町	1,000	8	●	×	●	
		たつの市	3,000	3	●	×	×	
	南丹市	南丹市	3,600	13	●	●	●	
		洲本市	1,764	9	●	×	×	
		南あわじ市	1,849	9	●	●	●	
	宮津市	京田辺市	5,000	23	●	×	×	
		京丹後市(2)	10,600	36	●	×	●	
		福知山市(1)	6,644	20	●	×	●	
		与謝野町	4,300	13	×	×	×	
		木津川町	5,000	17	●	×	●	
		長岡京市	5,774	21	●	●	●	
		高砂市	2,521	14	●	×	●	
		加古川市	7,700	51	●	×	●	
		明石市	8,412	47	●	×	●	
	八幡市	回答なし						
	伊根町	京丹後市(2)	宮津市分と合わせて一括回答					
		精華町	1,559	4	●	×	×	
		稲美町	760	13	×	×	●	
	播磨町	回答なし						
	福知山市	福知山市	600	1	●	●	●	
		上郡町	450	1	●	●	●	
	京丹波町	京丹波町	3,064	20	●	×	×	
		芦屋市	2,996	19	●	その他	(その他)	

【回答の特徴と自治体の声を一部紹介します】

◇マッチングができていない：5市町、無回答2市町

★とりわけ、多くの避難者を受入れる市町で、マッチングが出来ていない

舞鶴市の府外避難先で34,000人を受け入れる、最大の避難先である神戸市は、理由として「マッチングは受入調整の中で行う」と回答。また西宮市（16,000人）も同様。
これでは、実際に避難することはできない。

◇避難所の感染症対策

- ①「足りている」は25%だけ（14市町）
- ② 75%の市町が「足りない」「その他」と回答
- ③「足りない」31+「その他」11で42市町（複数回答あり）
42市町の中で「対策予定」は24市町のみ。「対策していない」7市町
「その他」11市町は「事故時に調整・相談」等＝事実上対策なし

<避難所を増やしたのは2市町だけ>

越前町（若狭町3,645人受入れ）：15→40/ 南あわじ市（南丹市1,849人受入れ）：9→25

<足りている理由>

- ・多くは、感染症対策をしても現在の避難所で十分と回答
- ・京都府下の市町では、「京都府では、従来の50%程度の避難者の受け入れを要請することを検討されているため、現在の避難所に対応できる」との回答が複数ある
→ ★風向きを無視した、数合わせに過ぎない

<対策を予定>

★「対策を予定」としながらも、上記と同様に50%の受け入れを想定。「予定」がいつ具体化するかは書かれていない

- ・避難所の指定は増やしているが、まだまだ足りない
- ・府から、府内・府外いずれにも避難可能な場合、従来の50%程度の避難者の受け入れを依頼することを検討中と聞いている
- ・避難所の使用面積と収容人数を見直しており、今後対策を検討予定/パーティション等の準備
- ・市内の指定避難所や公共施設等から、可能な限り多く開設する
- ・公的な避難所以外にも親戚や知人宅への避難や宿泊施設への避難についても検討していただくよう周知を行う（尼崎市）

<対策していない理由>

★府県や関西広域連合の「調整」は具体的に進んでいない

- ・避難元・避難先を交えて協議を行う必要があると考える→協議は具体化していない
- ・県に対策を要請したが、県内の他市町へ調整を行い、それでも不足する場合は関西広域連合に調整を依頼する旨の連絡があった
- ・今後、京都府から調整されるものと理解しています

<その他の理由>

★事故が起きた段階で調整する。「調整中」との回答が多い。これでは間に合わない

- ・受入れ調整の中で、現実が発生する避難者数と避難所の状況を見ながら柔軟に対応（神戸）
- ・京都府を中心として避難元市町を交え、避難方法等を含め、調整を進めています（京都市）
- ・当市の対応は京都府と兵庫県の調整後になります（西宮市。舞鶴市から 16,000 人受入れ）
- ・京都府では、府内・府外いずれにも避難可能な場合、従来の 50%程度の避難者の受入れをお願いすることを検討。今後、京都府に調整していただくことになります（宇治市 舞鶴 14,000 人受入れ）。
- ・当市で判断できない（伊丹市）
- ・原発事故時のみの避難所は確保しているが、南海トラフ巨大地震などに関連した複合災害の場合は、不足している（鳴門市）

◇濃厚接触者の別室確保

★濃厚接触者等は避難して来ないと思っている市町もある。「調整中」も多い

- ・56%の市町が「別室を確保できている」と回答（31 市町）
- ・29%の市町は「確保できていない」（16 市町）
 - ・本市に来るまでにスクリーニングが行われる（京田辺市）
 - ・今後京都府から調整されるものと理解（与謝野町）
- ・「その他」は4%（2 市）
 - ・京都府と兵庫県の調整後になります（西宮市、芦屋市）
- ・回答の「選択無し」は11%（6 市町）
 - ・濃厚接触者が来ることは想定していないため
 - ・濃厚接触者についても、京都府を中心として避難元市町を交え、避難方法等を含め、調整を進めてる（京都市）
 - ・濃厚接触者や発熱者については、避難者を送り出す際に、感染症の水際対策として、一時避難場所で健康チェックをして、健康な住民の方が避難受入先の施設に向かうこととなっていると聞いている、受入対象は感染症のおそれのない人に限られると承知している。よって、別室は確保していない。ただし、状況に応じ、対応する（北島町）

◇困っていること、県や府、関西広域連合への要望などの意見

- ・避難所不足で困っている ・感染症対策用の物資の支援
- ・濃厚接触者は府県で対応していただかなければ、市町での対応はできない（京丹波町）
- ・（濃厚接触者の別室確保について）京都府では、濃厚接触者や発熱者は避難元の段階から「疑い区分」として扱うことを検討されており、「疑い区分」の避難先についても調整中です。
仮に濃厚接触者、発熱者が避難してこられた場合は、別室又は別の避難場所へご案内（長岡京市）

2021. 3. 17（一覧表に●等の説明を追加）

ふるさとを守る高浜・おおいの会

安全なふる里を大切にする会（若狭町）

避難計画を案ずる関西連絡会